



IP電話導入の課題を一挙解決!! 通信機ディーラー注目の商材登場

IP電話サービスの急速な市場への浸透は通信機ディーラーにとって無視できないものとなっている。しかし、企業への提案にあたり解決すべき課題が少なくないのも確か。アレクソンが発表した「IPA 201」はIP電話サービスの抱える諸課題を解決し、ディーラーのビジネス拡大を支援する製品だ。

「従来の電話の“使い勝手”はそのままに、IP電話サービスの導入を実現する」。通信機ディーラーが求めていた商材が登場した。アレクソン（本社・兵庫県伊丹市、三瀬栄社長）が開発した「IPA201」だ。

通話料金の大幅削減を実現するIP電話サービスに企業の導入ニーズは高まるばかりだが、ビジネスで利用するにあたり、3つの課題が急浮上している。システム変更の発生、利用形態の変化、音質・信頼性の確保だ。

まずでは、多くの中小企業がISDN専用ビジネスホンを利用しているため、アナログインターフェースしか持たないVoIP装置と接続するにはビジネスホンに新たにアナログ外線ユニットを増設する必要がある。そのため機器の追加に加え、ビジネスホンの設定変更も生じ、多大な追加コストが発生してしまう。

も大きな課題となっている。IP電話サービスでは同一市外局番への通話に際しても、03、06等の番号を付加する必要がある。また、「ダイヤルイン」や「発信者番号通知」等、既存サービスが使えなくなるケースもある。

の音質および信頼性の確保もビジネスユースでは重要だ。高品質な音声通話はビジネスでは必須。さらにIP網の障害によって電話が使えなくなった場合、ビジネスに大打撃を与えることは言うまでもない。

IP電話でも変わらない使い勝手実現

IPA201はこれらの課題を解決する製品だ。詳細機能を見ていこう。

最大の特徴がU点のサポートである。ISDN回線接続用のU点を装備しており、ISDNインターフェースしか持たないビジネスホンに手を加えることなくIP電話用VoIP装置を直接接続できる。

ISDNポートを用意したことで、NTT公衆網が利用可能になる。停電やIP電話網がダウンした場合でも、ISDN網を通して通話できるので、障害発生時にもビジネスを停止させない。

さらにIP電話サービスで利用できない1110番や119番、0120番号をISDN側で発信したり、重要な顧客はISDN回線経由で、自社拠点同士の通話はIP電話を利用して発信する、等の使い分けもできる。このような回線の

「迂回機能」の設定は100件まで登録可能。同一市外局番への発信に際しても付加番号を必要としないので従来通りの方法で発信できる。

特筆すべき機能が「リモートメンテナンス」だ。これは遠隔地からIPA201の障害解析を行えるもの。リモートメンテナンスはアレクソンのサポートセンターが行うので、通信機ディーラーは障害発生時に原因の解析・対応に手を煩わせることがなくなる。

音声品質確保のための仕組みも備えられている。QoS機能に加え、IP電話サービス用に帯域を確保するため、メールやWebの閲覧等、他のアプリケーション通信をIPA201側で一時的に停止させることも可能だ。

このような多機能性と国内メーカーならではの柔軟なサポート実績が評価され、IPA201はフュージョンコミュニケーションズのIP電話サービス「FUSION IP-Phone」の対応端末に認定されている。

アレクソン・取締役営業本部長の中嶋康博氏は、「IPA201は、通信機ディーラーがIP電話サービスの販売に際して課題としていたものをすべて解決した製品です」と自信を見せる。IP電話サービスをビジネスに取り込んでいきたい通信機ディーラーにとって、必須商材となることは間違いない。

お問い合わせ先

株式会社アレクソン

本社営業所：〒664-0026
兵庫県伊丹市寺本3-207-1
TEL 072-777-1584 FAX 072-780-2060
営業本部：〒103-0013
東京都中央区日本橋人形町2-25-13
リンレイ日本橋ビル5F
TEL 03-3667-2276 FAX 03-3667-5329
URL <http://www.alexon.co.jp>

